

令和3年2月定例会一般質問発言通告表

発言 順序	3	議席 番号	11	氏名	中 村 憲 一 議員	1 / 2
発言項目				要 旨		答弁者
1				コロナ禍で影響を受けている外食産業の実態とサクヤ長屋門ダイニングの今後について	<p>日本フードサービス協会が1月25日に発表した2020年の外食売上高は前年比15.1%減で、1994年の調査開始以来最大の下げ幅とのことであった。</p> <p>不要不急の外出の自粛等の影響が長期化する中、年度末に向けて経営基盤が脆弱な事業者は資金繰り悪化の懸念があり、廃業ということになれば当市の食文化が消滅することにもなりかねず、何らかの支援策が求められる。</p> <p>また、当市と建物賃貸借契約を結び営業している「サクヤ長屋門ダイニング」も経営悪化を理由に休業を申し出た。</p> <p>以上、当市の食文化の保護にはコロナ禍に見舞われる外食産業に追加支援が必要であり、その支援は公平公正なものでなくてはならないという観点から、以下質問する。</p> <p>(1) 市内外食産業への影響について。</p> <p style="margin-left: 20px;">① 経営状況、対策状況等の実態を把握しているか。</p> <p style="margin-left: 20px;">② 新たな支援策を検討しているか。</p> <p>(2) サクヤ長屋門ダイニングについて。</p> <p style="margin-left: 20px;">① 休業に至った経緯の詳細はいかがか。</p> <p style="margin-left: 20px;">② 今後の見通しはいかがか。</p>	市長 関係部長
2				成人式の中止の影響と代替事業の開催について	<p>令和2年12月12日に、新型コロナウイルス感染症第3波による年末年始の移動の自粛が要請されている状況を受け、令和3年富士宮市成人式は中止になることが発表された。</p> <p>しかしながら、成人式を一生に一度の特別な節目と捉えると中止という決定は性急であり、旧友と再会し過去を振り返り未来を見据える機会を別途提供すべきと考える。</p> <p>以上、成人式の思い出を「コロナでできなかった」とすることなく、「コロナに打ち勝った」という記念碑的な行事とし、同時に関連産業への配慮も必要との観点から、以下質問する。</p> <p>(1) 中止の影響について。</p> <p style="margin-left: 20px;">① 関連産業の経済的影響、対応状況等の実態を把握しているか。</p> <p style="margin-left: 20px;">② 1月10日の新成人の行動はいかがか。</p> <p>(2) 代替事業について。</p> <p style="margin-left: 20px;">① 中止ではなく延期とし、代替事業の開催を検討できないか。</p> <p style="margin-left: 20px;">② 中止が覆らない場合、新成人に対する支援策を検討できないか。</p>	市長 教育長 関係部長

発言 順序	3	議席 番号	11	氏名	中 村 憲 一 議員	2 / 2
発 言 項 目		要 旨				答 弁 者
3	成果連動型民間委託契約方式を活用したゼロカーボンシティ達成について	<p>令和2年9月定例会一般質問において、行政課題は社会の成熟とともに多様化、複合化、重層化しており、技術革新がさらにこれを促進させたことで、従来の組織体制や思考では、新たな行政課題に十分対応しきれていないと指摘した。</p> <p>加えて、多様化した行政課題の解決には、民間事業者のノウハウ等を活用し蓄積させて、公共サービスに参入する民間事業者を育成することにより、民間ならではの手法で市民満足度の向上を図ることも求められる。同時に、民間事業者の事業への対価が成果指標の改善状況に連動することで個々の事業の費用対効果を高め、事業とその成果との関連性を検証することにより、人口減少の進展に伴い厳しさを増すことが予想される財政運営を効率的に推進しなくてはならない。</p> <p>また、令和2年11月定例会における稲葉晃司議員の一般質問の答弁通り、本市においては令和3年1月13日に「ゼロカーボンシティ」が宣言され、地球温暖化対策として2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロ達成という世界標準の必達目標が設定された。</p> <p>以上、多様化する行政課題の解決のためにも、また世界共通の目標である二酸化炭素排出量実質ゼロを達成するためにも、新しい公共調達の形として民間事業者のノウハウを活用する成果連動型民間委託契約方式の活用が必要であるとの観点から、以下質問する。</p> <p>(1) 成果連動型民間委託契約方式について。</p> <p>① 本方式の活用により期待できるメリット及びデメリットはいかがか。</p> <p>② 医療・健康、介護、再犯防止の3分野が重点分野とされているが、これら以外の分野での活用は可能と考えるか。</p> <p>(2) ゼロカーボンシティの達成について。</p> <p>① 達成に向けた具体的な取組は従来の取組の継続とのことだが、新しい施策はいかがか。二酸化炭素の直接排出の主原因がエネルギー転換部門であることを考慮すると、再生可能エネルギーの推進の方向性をどのように考えているか。</p> <p>② 目標を確実に達成するために、証拠に基づく政策立案から導かれた取組と成果の関連性を検証し、そこに対価を設定する成果連動型民間委託契約方式を採用し、民間事業者の活用を提案するがいかがか。</p>				市長 関係部長